

# ダイスフォージ

## 2017年日本選手権

**開催時期:**10月9日(日)

**エントリー方法:**当日受付(希望者多数の場合当日抽選)

**エントリー料金:**500円/持参300円

**定員:**32名(4×8卓)

**受付時間:**10月9日(日)10:00集合

**開催時間:**最大4ラウンド+決勝2RD/6時間以上:1RD60分

### トーナメントルール

#### ■参加人数とラウンド数

- 1卓4人による『ダイスフォージ』のプレイで、最大8卓32名。使用テーブル数については、4人を基本として端数が出た場合は下位卓を3人とする。
- 参加人数と開催ラウンド  
以下に従い、参加人数による既定のラウンド数をスイス式組み合わせで行う。  
1~4卓:3ラウンド  
5~8卓:4ラウンド

#### ■ラウンドでの勝ち点と組み合わせ

- ラウンドごとに各卓での順位でマッチポイント(ラウンド勝ち点)を与える。  
1位5pt    2位2pt    3-4位0pt
- 各ゲームで同点の場合は引き分けとなる。  
引き分けの場合は、該当者間での勝ち点は平均点となる。  
2名同点1位:3pt    3名同点1位:2pt  
2名同点2位:1pt    3名同点2位:0pt  
全員同点1位:1pt
- 次ラウンドは勝ち点合計の上位から上位テーブルに、席順は累計席順値順に着席する。

#### ■進行

- 1ラウンド60分とし、制限時間内にプレイできなかった場合、その時点を終局ラウンドとして、勝敗を決める。
- 毎トーナメントラウンド開始時に、入れ替えるカードを発表する。前のラウンドで入れ替えられたカードはそのまま残る。
- ダイスに関して不正が気になる場合は、全員右ないし左のプレイヤーに自分のダイスを振ってもらい、その結果を用いる。  
リソースに関して不正・ミスが気になる場合、コストの支払いは隣のプレイヤーの確認をしてもらうこと。  
起動型能力のプレイに関して、ダイスをふる前であり巻き戻し可能な場合は、巻き戻しを認める。
- ゲーム終了時の点数を元に勝敗を決める。
- 予選ラウンドの席順は、前のラウンドでの席順によって決定する。  
第一ラウンド以降、毎ラウンドのプレイ順の合計が大きい順に着席し、もっとも大きい数値の者が開始プレイヤーとなる。  
同数の場合は、直前のラウンドで席順が大きい者を開始プレイヤーとする。それも同じであれば、さらに前のラウンドにさかのぼる。それでも同じであればランダムに決める。  
例:プレイヤーAは3ラウンドまでの席順は3-1-2だった。合計は6になる。  
プレイヤーBは3ラウンドまでの席順は2-2-2だった。合計は6である。  
プレイヤーCは3ラウンドまでの席順は3-3-1だった。合計は7である。  
この3人が4ラウンド目に同卓となった場合、席順はC→B→Aとなる。

#### ■勝敗

- トーナメントは規程のラウンドを行って、最後に勝ち点の合計の多い上位8名による決勝戦を行う。

#### ■決勝ラウンドのタイブレーカー

- ラウンド勝ち点のタイブレーカーは、累計獲得榮譽ポイントの多いプレイヤーとする。それも同点の場合ダイスでランダムに決める。

#### ■インテンショナルドロウ・棄権

- 棄権の意志がある場合は、各ラウンドの結果報告の際に申し出ることによって次回ラウンドを棄権できる。
- 神はインテンショナルドロウ(同意の上での引き分け)を認めない。どうしてもという場合は、神であろうともダイスで順位を決める。しかも獲得榮譽ポイントは0である。

#### ■決勝

- 各卓の配分、着席場所、スタートプレイヤーはランダムに決める。
- 決勝ラウンドの準決勝から決勝に進むのは各卓上位2名とする。
- 準決勝で2位同点が出た場合、1位のみが決勝に進出する。
- 時間制限は設けない。
- 決勝で1位同点が出た場合、追加のラウンドを行う。なので、点数を計算する時にリソースを動かしたり、ダイスフェイズを外したり、片づけてしまわないように。  
この結果、3位だったプレイヤーが1位になってしまう可能性も当然ある。